



- 1 白チームの11番がシュートし、黒チームのゴールキーパー1番がボールをキャッチした。ちょうどそのときに自動終了合図があったが、レフェリーは後半がまだ30秒残っていることをタイムキーパーに指摘した。すべてのプレイヤーはコートに残っている。どのようにして競技を再開するか。
- (a) 黒チームのフリースロー
  - (b) 黒チームのゴールキーパーズロー
  - (c) 白チームのフリースロー
  - (d) 笛の合図の後に
  - (e) 笛の合図なしに
- 2 競技時間の終了後に、7mスローを行うことになった。レフェリーは、7mスローの直接の結果を待った。どちらのレフェリーが競技を終了させるか。
- (a) 第1レフェリー
  - (b) どちらかのレフェリー
  - (c) コートレフェリー
  - (d) ゴールレフェリー
- 3 得点を認めた後、レフェリーがその得点を取り消すことができるのは、どの時点までか。
- (a) スローオフの笛まで
  - (b) 競技の終了合図まで
  - (c) タイムキーパーが競技を中断した後の得点は、たとえ次のスローオフの笛を吹いていたとしても取り消さなければならない
  - (d) 得点の取り消しは不可能

4 タイムアウトを必ず取らなければならない状況はどれか。

- (a) 2分間退場
- (b) フリースロー
- (c) パッシブプレー
- (d) 不正交代
- (e) 警告
- (f) スローイン

5 自動終了合図の後にフリースロー（最後の一投）を行うべき状況になった。黒チームの9番は正しい位置につき、白チームのゴールへシュートを打とうとしている。黒チームの9番がボールを手から離れた瞬間に、タイムキーパーが笛を吹いた。この笛によってゴールキーパーはプレーを止めたため、ボールはゴールの中に入った。タイムキーパーは「今、コート上で防御を行っている白チームの7番は、フリースローの実施直前に白チームの6番と交代してコートに入場した」と説明した。

- (a) 白チームの7番を、2分間退場とする
- (b) レッドカードを示し、白チームの7番を失格とする
- (c) 黒チームの得点
- (d) 黒チームの7mスロー
- (e) 笛の合図の後に、黒チームはフリースローを再度実施

6 白チームが得点を決めた。クイックスローオフを行うため、黒チーム5番はセンターラインに向かってボールを素早くドリブルした。黒チーム5番が白チーム3番の前を通り過ぎようとしたとき、白チーム3番は開いた片手で黒チーム5番からボールを払い落とした。ボールは黒チーム5番の足に当たり、センターラインを越えて相手チームのコート奥まで転がっていった。

- (a) タイムアウト
- (b) 黒チームのスローオフ
- (c) 白チームの3番に、段階的罰則を適用
- (d) 白チームのフリースロー
- (e) 白チームの3番を、即座に2分間退場とする

7 競技終了の合図の後にフリースローを行う場合、それぞれのプレイヤーは、どの位置にいないといけないか。

- (a) スローを行うプレイヤーの味方のプレイヤーは、相手チームのフリースローラインの外側にいないといけない
- (b) スローを行うプレイヤーの味方のプレイヤーは、自陣のコートにいないといけない
- (c) 相手チームのプレイヤーは、スローを行うプレイヤーから 3 m 以上離れる、あるいは自陣のゴールエリアラインの外側に沿っていないといけない
- (d) スローを行うプレイヤーの味方のプレイヤーは、スローを行うプレイヤーから 3 m 以上離れなければならない
- (e) スローを行うプレイヤーの味方のプレイヤーは、スローを行うプレイヤーと共に、相手チームのフリースローラインに沿って位置を取ってもよい

8 黒チームの 3 番がシュートを打った。しかし、ボールは誰にも触れられることなくゴールエリア内の床で止まった。それと同時に、黒チームのチーム責任者がチームタイムアウトを請求した。

- (a) タイムキーパーは笛を吹くと同時に時計を止め、黒チームのチームタイムアウトをレフェリーに示す
- (b) タイムキーパーは、グリーンカードを黒チームのチーム責任者に戻す
- (c) 黒チームのフリースローで再開する
- (d) 相手チームのゴールキーパースロー

9 後半 25 分 00 秒に、白チームのチーム責任者が、この試合 2 回目のチームタイムアウトを請求した。後半 29 分 00 秒、同じチームのチーム責任者が 3 回目のチームタイムアウトを請求した。

- (a) チームタイムアウトは、有効である
- (b) チームタイムアウトは、無効である

10 白チームのチーム役員 A は、チームタイムアウトを請求するためにジャッジズテーブルに行き、タイムキーパーの目の前（机の上）にグリーンカードを置いた。タイムキーパーがチームタイムアウトの笛を吹く前に、白チームの 9 番はシュートを打った。黒チームのゴールキーパー 12 番がシュートを止め、ボールがゴールエリア上の空中にあるときに、タイムキーパーがチームタイムアウトの笛を吹いた。

- (a) 白チームはボールを所持していないため、チームタイムアウトを請求することはできない
- (b) 白チームのチームタイムアウト
- (c) 白チームにグリーンカードを返す
- (d) 黒チームのゴールキーパー스로ーで競技を再開
- (e) 白チームのフリースローで競技を再開
- (f) 黒チームのフリースローで競技を再開

11 負傷したプレーヤーを救護するために、レフェリーが白チームに対してコートへの入場許可を与えたとき、許されない行為はどれか。

- (a) 相手チームのプレーヤーが、コーチから指示を受けるためにサイドラインの近くに立つ
- (b) 白チームのプレーヤーが、交代ラインの外側を通過して交代する
- (c) コートへ入場した白チームのチーム役員の一部が、負傷したプレーヤーから遠く離れた所に行き、自チームのプレーヤーに指示を出す

12 白チームのゴールキーパー 1 番は、黒チームのシュートを止めたことにより、ゴールポストに頭をぶつけ、コート上での治療が必要となった。

- (a) 頭部を負傷したことによる治療であるため、コート上での治療の後、白チーム 1 番はそのまま競技を続けることができる
- (b) コート上での治療の後、白チーム 1 番は、自チームが 3 回の攻撃を終えた後、コートに戻るることができる

13 競技終了まで残り3分。スコアは21-21の場面で、黒チームで一番得点を取っていた2番は、不運なことに足首をひねり倒れた。レフェリーは黒チームの2番に「プレーを続けますか?」と尋ねた。しかし黒チームの2番は質問に答えず、床に倒れたままであった。そのためレフェリーは競技を中断し、ジェスチャー15と16を示し、黒チーム2番への治療行為のために黒チームに2名の入場許可を与えた。しかし黒チームは処置を拒否し、レフェリーが次の行動に移る前に、黒チームの2番は競技を続けるために立ち上がった。

- (a) 黒チームの2番は、そのまま競技を続けることができる
- (b) 黒チームの2番はコートから出なければならず、自チームが3回の攻撃を終えた後、コートに戻るることができる
- (c) 黒チームのチーム責任者に、段階的罰則を適用する

14 白チームの11番はコート上でスリップし倒れ、交代地域とは逆のサイドからコートの外に出て、広告ボードに頭を打った。レフェリーは速やかに競技を中断し、白チームの11番への治療行為のために白チームに入場許可を与えた。20秒後、白チームの11番は競技可能となった。

- (a) 白チームの11番はコートの外に横たわり、そこで治療を受けていたので、そのまま競技を続けることができる
- (b) 白チームの11番は速やかにコートから出なければならず、自チームが3回の攻撃を終えた後、コートに戻るることができる

15 競技の中断中に黒チームの14番は、正しく交代した。しかし、タイムキーパーは笛を吹き、黒チームの14番は記録用紙に記載されていないと説明した。黒チームの14番は、黒チームの18番として記録用紙に記載されていることが判明した。

- (a) 黒チームのチーム責任者に、段階的罰則を適用する
- (b) ジャッジズテーブルの前から、相手チームにフリースローを与える
- (c) 背番号を記録用紙に記載されている通りとし、黒チームの14番は、18番のユニホームに着替える
- (d) 競技の中断の理由に相応しいスローで競技を再開し、記録用紙にその旨を特記する

16 競技の開始時に、白チームは12名のプレーヤーしかいなかった。いつもゴールキーパーとしてプレーしている2名のプレーヤーは、まだ到着していなかった。そこで、白チームは12名のコートプレーヤーのうち1名をゴールキーパーとし、競技を開始した。

- (a) 競技の開始時にゴールキーパーとして出場するコートプレーヤーは、1、12、16のいずれかの番号で記録用紙に記載されなければならない
- (b) 競技の開始時にゴールキーパーとして出場するコートプレーヤーは、競技中、コートプレーヤーとして出場することができる
- (c) 遅れてきた白チームのゴールキーパーは、1、12、16のいずれかの番号で記録用紙に記載されなければならない
- (d) 遅れてきたゴールキーパーのうち1名だけが、コートプレーヤーとして出場できる

17 白チームの2番は肘のサポーターなしに、ウォーミングアップをしていた。ゲーム開始から5分後、白チームがボールを保持した際に、白チームの2番は正しく交代しコート内に入った。そのときレフェリーは、白チームの2番が硬い素材部分が覆われていない肘のサポーターを着用していることに気づいた。

- (a) 硬い素材部分が覆われていない肘のサポーターの着用は許されるので、競技をそのまま続行する
- (b) レフェリーは競技を中断。白チームの2番はコートから去らなければならない。白チームの2番は、肘のサポーターを外すか、硬い素材部分を覆うなど違反を正すことで、コートに戻ることができる
- (c) レフェリーは競技を中断。白チームの2番はコートから去らなければならない。白チームの2番は、肘のサポーターを外すことで、コートに戻ることができる
- (d) 白チームの2番に、段階的罰則を適用する
- (e) 白チームのチーム責任者に、段階的罰則を適用する
- (f) 白チームのフリースローとする
- (g) 相手チームのフリースローとする

18 競技の開始とともに、白チームの会長は 2 名のチーム役員、トレーナー、そしてコーチとともに交代地域のベンチに腰を下ろした。

- (a) 控えのゴールキーパーは、ベンチの後方で立っていなければならない
- (b) 会長は、交代地域から去らなければならない
- (c) 役員のうち誰か 1 名が、交代地域から去らなければならない
- (d) 記録用紙に記載されていない者はすべて、交代地域から去らなければならない
- (e) チーム責任者に、段階的罰則を適用する

19 白チームのゴールキーパー 16 番が負傷したため、白チームの 5 番が代わりを務めることになり、ユニホームを着替えた。20 分後、白チームの 16 番は再びプレーできるようになり、白チームのチーム役員 A は、白チームの 5 番と交代させた。白チームの 5 番は元のユニホームに着替えた後、スコアキーパーに告げずにコートプレイヤーとして再びコートに入場した。

- (a) 競技規則で認められているので、問題はない
- (b) 相手チームのフリースロー
- (c) 白チームの 5 番を、2 分間退場とする
- (d) (レフェリーはレッドカードを示し) 白チームの 5 番を、失格とする

20 退場時間が満了する 30 秒前に、白チームの 3 番は競技を妨害することなくコート内に入った。このとき、白チームがボールを所持していた。

- (a) 相手チームのフリースローとする
- (b) 白チームのフリースローとする
- (c) 白チームの 3 番を、新たに 2 分間退場とする。そして、白チームはコート上のプレイヤーを 30 秒間さらに 1 名減らす
- (d) 白チームの 3 番を、30 秒間退場とする。そして、白チームはコート上のプレイヤーを 2 分間さらに 1 名減らす
- (e) (レフェリーはレッドカードを示し) 白チームの 3 番を、失格とする。そして、白チームはコート上のプレイヤーを 30 秒間さらに 1 名減らす

2 1 報告書の作成が必要となるのは、どの罰則か。

- (a) 3 回目の 2 分間退場を判定したことに伴う失格を除くすべての失格
- (b) 注意を除くすべての罰則
- (c) すべての 2 分間退場と失格
- (d) 競技終了前 30 秒間に、相手が明らかな得点チャンスを得ることを妨害する目的で行った危害を及ぼす行為や、著しくスポーツマンシップに反する行為に対する失格
- (e) 極めてスポーツマンシップに反する行為による失格
- (f) 競技終了前 30 秒間に、相手が明らかな得点チャンスを得ることを妨害する目的で行ったすべての段階的罰則

2 2 競技中、レフェリーに話しかけることが許されるのは誰か。

- (a) すべてのプレーヤー
- (b) すべてのチーム役員
- (c) チーム責任者
- (d) チームキャプテン

2 3 黒チームのフリースローライン付近で、白チームがボールを所持していた。タイムキーパーは競技を中断し、白チームのチーム役員 A から侮辱されたとレフェリーに説明した。このチーム役員 A の行為は、タイムキーパーしか気づいていない。

- (a) 報告書を作成
- (b) 白チームのチーム役員 A を 2 分間退場とし、報告書を作成する
- (c) 白チームの交代地域の前から、黒チームのフリースローで競技を再開する
- (d) 黒チームのフリースローラインから、白チームのフリースローで競技を再開する



24 競技中、白チームのチーム役員 A はジャッジズテーブルのすぐ傍まで繰り返し近づき、指示を出していた。そうこうするうち白チームのチーム役員 A は、そこからレフェリーの判定に抗議したが、場内の騒音でレフェリーは抗議に気づかなかった。

- (a) タイムキーパーは直ちに競技を中断し、チーム役員 A の違反行為をレフェリーに知らせる
- (b) タイムキーパーは次の競技の中断まで待ち、チーム役員 A の違反行為をレフェリーに知らせる
- (c) 白チームのチーム役員 A に、段階的罰則を適用する
- (d) 罰則は不要

25 白チーム 5 番は、前半 7 分 00 秒に 2 分間退場となった。白チーム 5 番は、競技が再開される前に抗議をしたため、2 分間の退場が追加された。ちょうど 1 分後、白チーム 5 番はコート内に走り込んできたため、タイムキーパーは笛を吹いた。白チーム 5 番は不正入場により、(3 回目の 2 分間退場により) 失格となった。この判定を受け白チーム 5 番は、レフェリーを侮辱した。

- (a) 白チームはコート上のプレーヤーを 7 分 00 秒から 8 分 00 秒まで 1 名減らし、8 分 00 秒から 10 分 00 秒まで 2 名減らす。そして、10 分 00 秒から 11 分 00 秒まで 1 名減らす
- (b) 白チームはコート上のプレーヤーを 7 分 00 秒から 8 分 00 秒まで 1 名減らし、8 分 00 秒から 11 分 00 秒まで 2 名減らす。そして、11 分 00 秒から 12 分 00 秒まで 1 名減らす
- (c) 白チームはコート上のプレーヤーを 7 分 00 秒から 8 分 00 秒まで 2 名減らし、8 分 00 秒から 10 分 00 秒まで 3 名減らす。そして、10 分 00 秒から 11 分 00 秒まで 2 名減らす
- (d) 白チームはコート上のプレーヤーを 7 分 00 秒から 8 分 00 秒まで 2 名減らし、8 分 00 秒から 10 分 00 秒まで 4 名減らす。そして、10 分 00 秒から 11 分 00 秒まで 2 名減らす
- (e) 白チーム 5 番を、報告書を伴う失格とする(レッドカードとブルーカード)